



やまなし 看護協会 news

2024
令和6年

9月
Vol.130

発行/公益社団法人 山梨県看護協会 <http://www.yna.or.jp>

〒400-0807 甲府市東光寺2丁目25-1 TEL (055) 226-4288
発行責任者/佐藤悦子 印刷/有限会社クリップ

看護職のあなたをサポート!
会員特典もいろいろ!

本誌デザイン
をリニューアル
しました!

山梨県看護協会への入会手続きはお早めに!!
山梨県看護協会会員数 5662人(令和6年8月11日現在)



甲府市/甲府北バイパス上からの甲斐善光寺と甲府市街の眺め



contents

山梨県看護協会会長あいさつ.....	2	うちの職場自慢〈その72〉.....	10
令和6年度 理事会メンバー・新役員・職能委員会紹介 ...	3	シリーズ キャリアアップへの耳寄り情報〈No. 8〉.....	10
令和6年度 職能委員会活動報告	4	ナースのママ・パパ奮闘記〈No. 59〉.....	11
第46回看護大会(フェスタ看護事業の取り組み報告)	5	Topic & Information.....	11
「研修情報管理システム」がスタートしました.....	5	令和6年度 理事会報告.....	12
報告/令和6年度 地区支部の取り組み	6~7	INFORMATION / 編集後記.....	12
特集/医療的ケア児への支援.....	8~9		

笑顔
スナップ!

公益社団法人 山梨県看護協会



会長とともに



総務・教育



ナースセンター



訪問看護

看護の専門職として 互いを高めあえる場を目指して

山梨県看護協会 会長 佐藤 悦子



令和6年度山梨県看護協会の総会は、6月21日に開催されました。会員の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。私が看護協会長として就任させていただき3年が過ぎ、2期の2年目に入りました。新型コロナウイルス感染症対応の真ただ中で古屋玉枝前会長からバトンを受け、皆さまからのたくさんのご支援をいただきながら、なんとか看護専門職能団体として組織的に事業の推進に取り組んでまいりました。

今年1月1日に能登半島でマグネチュード7.6という地震が発生しました。亡くなられた多くの方々のご冥福を祈り、いまだ避難生活をされている方々に一日も早く安心して日常が過ごせますことを心より願っております。いち早く現地に入り様々なチームで支援活動をしてくださいました看護職の皆さま、調整をしてくださいました看護管理者や関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。

未だに収束しない新型コロナウイルス感染症や災害発生時の看護職の、そこへの向かい方にあらためて看護職のすごさを実感しております。

「看護という仕事は、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる年代の人々の健康問題に取り組み、人間が一生のうちで出会う大きな出来事のあらゆる場面に直接かかわる職業です。」これは川嶋みどり先生が著書「看護の羅針盤366の言葉」（2020）の中で書かれている言葉です。私たち看護職は、人が一生のうちで出会う健康や生命に関する大きな出来事のあらゆる場面に、保健・医療・福祉のあらゆる場面から直接かかわることを許された専門職です。大切なのは、そこにどういう姿勢でどのようにかかわるかという事だと思います。

川嶋先生は以前対談の中で、私たちが抱えている課題は「看護師不足ではなく、看護不足」ではないかと話されていたそうです。この言葉に私は大きな衝撃を受けました。私たちは立ち止まり、自分たちのあり様を常に確認して行くことが大切だと痛感いたしました。そして、看護協会は、同じ志を持つ仲間たちとともに、看護の専門職として人と向き合い、よりその人に寄り添って「看護の実践」ができることを目指さなければならない。研修会や委員会活動、職能活動などを通し、互いに高めあえる場を意図的に創っていくという重要な役割を担っていると考えております。

川嶋みどり先生には、令和7年1月18日（土）午後より看護連盟と合同で開催いたします看護講演会に山梨に来ていただけることになっております。今だからこそ、もう一度看護の原点をみんなで確認しませんか。大勢の皆さまのご参加をお待ちしております。

令和6年度県看護協会は5つの重点事業を上げ取り組んでおります。社会のニーズに看護職として役割発揮をしていくために、多くの仲間たちとともに専門職能団体としてネットワーク化を図り、働き続けられる環境や学びあう環境を組織的に創り上げていきます。今年度も会員数6,000人を目指します。令和6年度も会員の皆様とともに創り上げる活動にしていきたいと考えております。どうぞ引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

令和6年度 理事会メンバーをご紹介します

会長	佐藤 悦子	峡北地区理事	清水 かおり
副会長	遠藤 みどり	峡東地区理事	矢崎 貴恵
副会長	佐藤 あけみ(新)	峡東地区理事	佐野 里美(新)
専務理事	小川 忍(再)	峡南地区理事	小林 緑(新)
常任理事	岡本 理恵(再)	富士・東部地区理事	長田 美幸(新)
保健師職能理事	飯島 俊美	監事	中込 正純(再)
助産師職能理事	渡邊 美紀(新)	監事	清水 しほり
看護師職能理事	井上 勝美(再)	監事	一瀬 礼子(新)
准看護師理事	武藤 好世	(新) :新しく承認された役員、(再) :再任された役員	
中北地区理事	新田 妙子		
中北地区理事	斉藤 寿美		
中北地区理事	渡辺 亜矢子		

令和6年度 職能委員会

◆保健師 職能委員会

望月宗一郎	健康科学大学
塚原 麻理	南アルプス市役所
武藤 陽子	甲州市役所
小林扶津紀	西桂町役場
大久保知香	峡東保健福祉事務所
上村もとみ	全国健康保険協会山梨支部
齊藤 和子	中央市役所
砂田 清美	身延町役場

◆助産師 職能委員会

渡辺 由香	富士吉田市立看護専門学校
高尾 敏世	富士吉田市立病院
伴野 理恵	市立甲府病院
望月 桂子	甲府共立病院
佐々木弓美	独立行政法人国立病院機構 甲府病院
渡邊 智美	都留市立病院
佐々木明優美	山梨赤十字病院
長澤 良美	山梨大学医学部附属病院
渡邊 美幸	助産院フジサンバ

◆看護師 職能委員会

内藤 由華	山梨県立中央病院
河野ゆかり	山梨大学医学部附属病院
功刀 恵子	峡南病院
高木 昌美	巨摩共立病院
喜多英美里	上野原市立病院
宮崎 尚子	市立甲府病院
荻原 幸子	山梨リハビリテーション病院
富岡 恵	三生会病院
茅野 久美	山梨県立大学看護学部
藤原 恵	かいこま訪問看護ステーション
今村百合子	サンライフ寿
山口 宏予	富士北麓訪問看護ステーション
古屋 教子	甲州市社会福祉協議会 訪問看護ステーション
秋山 裕子	峡西老人保健センター
幡野 清美	介護老人保健施設サンビューふじかわ

◆推薦委員会

向井 知美	山梨県立中央病院
岡部 順子	富士・東部保健福祉事務所
古屋 佳子	白根徳洲会病院
齊藤菜穂子	春日居総合リハビリテーション病院
河西美千代	峡南医療センター市川三郷病院
三森 順子	大月市立中央病院

◆選挙管理委員会

村松 秀子	山梨県立中央病院
松野 敦子	山梨県総務部職員厚生課
飯室佳也子	巨摩共立病院
畠山 康宏	笛吹中央病院
川窪三陽子	飯富病院
松島美由起	山梨赤十字病院



新役員ご紹介 ※①:抱負 ②:趣味

会員の皆様の声を活かし、会員と共に歩む活動をめざします。
どうぞよろしくお願いたします。



副会長
佐藤 あけみ
①臨床現場の現状と課題を積極的に発信し、協会活動に生かしていきたいと思えます。
②友達とお喋り



峡南地区理事
小林 緑
①峡南地区理事として頑張っていきたいと思えます。
②食べ歩きとサスペンスドラマを見ることです。



助産師職能理事
渡邊 美紀
①皆様にご指導いただきながら、役割を果たしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。
②温泉



富士東部地区理事
長田 美幸
①協会と地区支部のパイプ役として、役割を果たせるようにがんばります。
②犬とお散歩



峡東地区理事
佐野 里美
①峡東地区と看護協会とのパイプ役となり、風通しのいい組織となるよう努めます。
②ペットのゴールデンと遊ぶこと(毎日癒され元気ももらっています)。



監事
一瀬 礼子
①理事の皆さんと共に看護協会の事業推進等、発展に尽力します。
②マイブーム:夫婦で戦う「ぶよぶよ」



令和6年度 職能委員会活動報告

通常総会に続いて開催された令和6年度職能別交流集会において
職能委員ごとに、更なる専門性を発揮していくための活動方針を掲げました。
会員のみなさまには各職能委員会活動へのご支援・ご協力をお願いします。

保健師 職能委員会

保健師の専門性を高め役割を 発揮しながら、看護職間及び多 職種と連携・協働しすすめる地 域づくり

保健師職能委員長 飯島俊美



令和6年度保健師交流集会は、「災害発生時における保健活動から保健師に期待されている役割について考える～保健師の専門性や平時からの保健師活動について語ろう～」を

テーマに、6月29日に集合研修で開催しました。年頭に発災した能登半島地震における被災地において、応援活動を行った3名の保健師から、現地での保健活動と活動を通じて感じたことなどの報告を受け、その後グループワークを行いました。日頃の保健師活動・経験がそのまま災害時の動きに繋がること、そのため、それぞれの立ち位置でできることを考え進めていくことを確認する機会となりました。

今年度の委員会活動目標は①健康な生活の実現に向け、保健師の専門性を高め役割が発揮できるようにする②保健師活動の「見える化」を強化する③保健師間の連携を強化しネットワークを推進するの3つを掲げ、健康なまちづくりを担う専門職として、時代の要請に応える保健師活動が推進できるよう、委員皆で力を合わせ取り組みます。今年度も職能委員会活動への御支援、御協力をお願いします。

助産の原点について考え、未来 につなげていく

助産師職能委員長 渡邊美紀



山梨県の出生数が約4600人/年となり、病院、開業医院での出産が約99%と多くを占めています。その中の1%に助産院、自宅での出産があります。助産は一人の女性、家族と向き合い、妊娠、分娩、育児と過ごし支えていく大切さがあります。令和6年度助産師交流集会では「1%の風景」というドキュメンタリー映画を上演しました。毎日いろいろな施設や地域等で働く私達にとっ

ては、原点に帰れる素敵な時間となりました。

助産師職能委員会の目標は①助産師が周産期や女性の健康とその家族への支援へ能力が発揮でき助産師らしさを強められる(技術・技術の向上)研修の実施②「県民の健康な生活の実現に貢献する」ための事業の推進を行うために関係団体と協働して事業の推進を図る③山梨県周産期の現状を把握し、助産師活動の示唆を得る。の3つを挙げています。今年度も助産師職能委員会活動へのご支援ご協力をお願いいたします。

看護師 職能委員会

看護職の心地よい働き方 ～未来への投資～

看護師職能委員長 井上勝美



現代社会において少子化の加速から生産年齢の人口減少も著しい。「人生100年」といわれる時代の中で、私たち看護職はさまざまな場面で活躍が期待されています。

そのためには、心身の健康が大切です。看護師職能委員会では、「働き続けられる職場づくり」を基盤とし3年目を迎

えました。離職の原因の1つとして職場内の人間関係で悩んだり、ハラスメントによる被害が挙げられます。ハラスメント対策を実施することで離職のストレスが軽減され、職場環境の改善・満足度の向上・人材の定着に繋がります。令和6年度は「職場におけるハラスメント」についての講演から、パワーハラスメントの定義やアサーティブなコミュニケーションスキルを身につけることの大切さを学びました。

今年度の活動として、領域Ⅰでは、若手看護師の就業状況に関する現状把握のアンケートを実施し調査・分析をしていくことで、離職防止対策の一助に繋がっていきたいと考えます。領域Ⅱでは、看護技術の向上を目的にし、ニーズに合わせたリモートでの研修を企画していきます。リモートでの研修を通して更なるネットワーク作りにも繋がっていきたいです。

今年度も看護師職能委員会活動にご支援ご協力をお願いします。

FESTA

第46回 看護大会

一般会員の参加を得て「看護大会」を看護週間の5月17日にリッチダイヤモンド総合市民会館（甲府市総合市民会館）、総勢270人の参集により開催いたしました。

表彰式では、看護功労者20人と県民の看護師さん5人に表彰状と記念品が贈られました。その後の記念講演会では、玉置妙憂（たまおきみょうゆう）様により「看護職へのエール！～セルフスピリチュアルケアのすすめ～」の演題でご講演をいただきました。



長崎知事のあいさつ



表彰者のみなさん



玉置妙憂様による記念講演

令和6年度 看護功労者知事表彰

中田 貴美子	北杜市役所	服部 国江	日下部記念病院
矢崎 貴恵	山梨市役所	若林みどり	身延山病院
渡邊 文子	忍野村役場	奥 立美	回生堂病院
渡辺亜矢子	甲府市役所	小林 博子	つる訪問看護ステーション
伊藤 雅美	山梨大学医学部附属病院	浅川美智子	山角病院
猪又加寿子	山梨県立北病院	井上 貴美	甲府城南病院
小林 清香	恵信梨北 リハビリテーション病院	中山小百合	甲府脳神経外科病院
大門 恵美	山梨大学医学部附属病院	村松 裕子	山梨県民主医療機関 連合会
向井 要子	山梨県立育精福祉センター	石川 菊江	峡南病院
小池 栄子	山梨厚生病院	中込 菊子	峡南病院

第29回 県民の看護師さん

菅原 眞澄	貢川訪問看護ステーション
一瀬 翔	山梨県立北病院
齋藤 今日子	甲府城南病院
佐々木 薫	巨摩共立病院
中村 陽子	山梨大学医学部附属病院



「研修情報管理システム」がスタートしました！

7月開催の研修から「研修情報管理システム」イージーセミナーでの申し込みが始まりました。運用に向けて再度のお願いと、お問い合わせが多い内容を掲載しましたので、ご確認ください。

- ①「研修情報管理システム」イージーセミナー利用に際し、マイページ登録をお願いします。
- ②研修によっては事前アンケート・事前課題の提出をお願いしています。

お知らせメールが届きましたら、自身のマイページにログインし、研修情報内容を確認してください。

③研修受付、退出確認は、研修室入口に設置している機械を通して行います。会員の方は会員証、又は電子会員証（キャリアパス登録者）、非会員の方はマイページより受講票を印刷してご持参ください。

④マイページ登録の際、番号（会員又は免許）の不一致にて登録できない場合は、山梨県看護協会までご一報ください。



マイページ登録がまだの方は
こちらのQRコードから
ご登録ください

峡北

顔の見える関係づくりから連携を広げて

峡北地区支部長

西 純子



峡北地区支部は、令和6年度定期総会後に「人生100年時代到来 これからの看護職のあり方の展望」と題し国際医療福祉大学生涯学習センター専任教員で山梨県看護協会副会長もなされた、飯野みゆき氏の記念講演会を開催しました。参加者からは、「今後の働き方と学びを考えるきっかけとなった」「エールをもらえ元気になれた」等の感想が寄せられました。今年度は、次なる新興感染症対策を行う時代のメンタルヘルスや自然災害の対

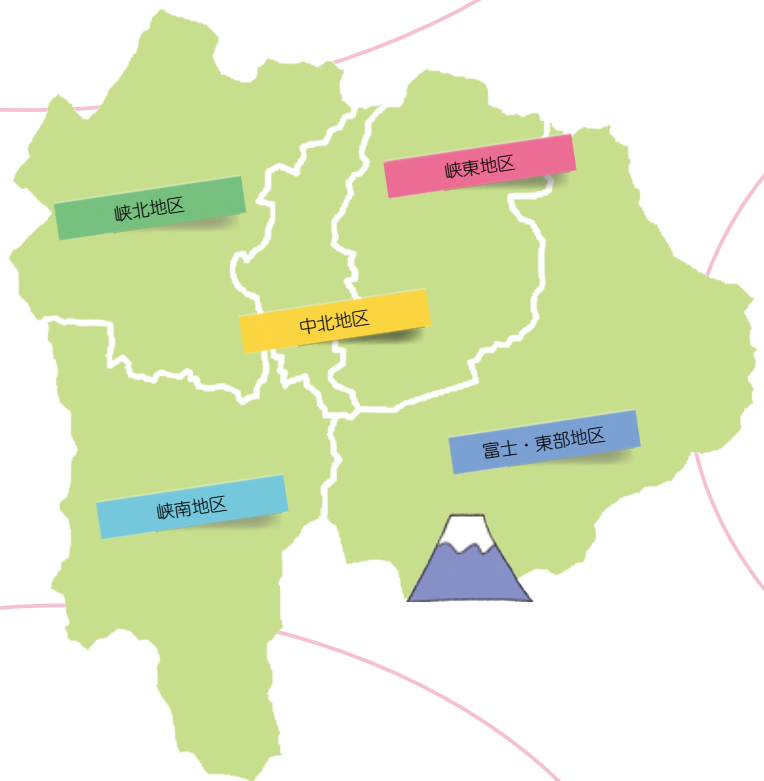
応力強化に対する研修、平成27年より継続しコロナ禍で2年中断したことで改めてその重要性に気づき再開している「その人らしい生活を支える事例検討会」を企画しています。今後も支部の活動を通し、顔の見える関係の中で施設の特徴や互いの役割を知り連携を広げ、地域の方々の健康と福祉に貢献できるよう努めて参りたいと思います。



報告

地区支部の取り組み

各地区支部の活動についてご紹介します。
各地区の特性に合わせた取り組みが実施されていくと思います。
会員のみなさまのご理解とご協力をお願いします。



峡南

顔の見える横のつながりを更に強化して

峡南地区支部長

川窪 三陽子



峡南地域の特性を強みと捉え看護職間の顔の見える横のつながりを更に強化していけるよう今年度も活動を続けていきます。
トピックス研修では今年1月に発生した能登半島地震で活動したDMAT隊の災害現場での活動報告、地域住民の関心度の高い慢性腎臓病について峡南地域で診療をしている医師と管理栄養士による住民向け研修、今年度から名称を変え日々の看護ケアの

取り組みや振り返りを共有するための看護実践報告会と企画・運営をしていきます。

峡南地域のあらゆる現場で活動する看護職の声を活動に反映させることができるよう会員・非会員を問わず、つながりを大切に活動を通して1人でも多くこの峡南の地で頑張る仲間を増やしていけたらと考えています。

研修には地区外からの参加も積極的に受け入れております、峡南地域でお待ちしております。



看護の質向上に向けた支部活動を目指して

峡東地区支部長

一瀬 貴子



峡東地区支部では、「病院・施設・地域の連携による地域包括ケアの推進」を目標のひとつに掲げ活動を行っております。昨年度「医療と介護の連携の手引き」の周知・活用促進のための研修会を各施設で実施、今年度はその評価を行い、取り組みを進めていきます。

令和6年度の定期総会は5月31日に開催され、「ヤングケアラーに

ついて～看護職として何ができるか～」と題し山梨県立大学の伊藤健次先生にご講演いただきました。時代背景の中でケア提供者の権利も考えながら支援に繋げる必要性や、地域連携における家族支援をあらためて考える機会となりました。今後、「リフレッシュ研修」「継続看護研修」なども計画しています。今年度も、看護の質の向上に向けた活動が行えるよう役員一同努力してまいりますので、支部活動へのご支援、ご協力をお願い致します。



峡東

中北

顔の見える関係づくりから連携を広げて

中北地区支部長

百瀬 千尋



中北地区支部の令和6年度通常総会での記念講演は、昨年好評だった、山梨県在住の三枝亭二郎氏に再度ご講演を頂きました。大変な時だからこそ、マイナス要素を吹き飛ばす「笑い」のパワーが必要であり。多くの会員が笑いリフレッシュできた様子でした。

今年度は、「社会人基礎力を学ぶ一指導編」や「意思決定支援」に関する研修会を企画していますので、ぜひご参加ください。また一日まちの保健室では甲府市、中央市、甲斐市、昭和町で実施

し、地域の皆さまの健康支援に少しでもお役に立てるよう取り組んでまいります。

参集できるようになり改めて地域における看護職同士が“つながる”重要性を強く感じております。30名の役員・委員で中北地区支部の皆さまのご要望に少しでもお応えできるよう役員一同尽力してまいります。今後とも、ご協力・ご支援をどうぞよろしくお願い致します。

山梨県看護協会中北地区支部通常総会



地域の看護職の連携を強化し、富士・東部地域住民の健康と福祉の増進を目指して

富士・東部地区支部長

渡辺 久子



富士・東部地区支部では、「地域の看護職の連携を強化し、地域住民の健康と福祉の増進に寄与する」ことを目的にして、活動しております。

今年度は、看護の質の向上・安心して働き続けられる職場づくりの推進を目的に、地域の病院・施設・地域の看護職が一同に集まり学ぶ機会として、3つの研修を企画しております。1つは、昨年度に引き続き「災害看護に関する研修Ⅱ」として、昨年度の富士山噴火時の看護職に

おける役割等の学びを活かし、災害時行政・病院・地域における連携、避難所での感染対策についての研修会。2つ目は、高齢者や独居のかたの意思決定について学び、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発の研修会。3つ目は、日々の実践とは異なった研修を企画し、会員自身がリフレッシュできる機会となる研修を予定しております。また、啓発活動として地域の公開講座への協賛、一日看護師体験、地域の小・中学生の看護体験学習の受け入れや出前事業等も予定しております。

研修会などを通して、看護職が集まり連携を強化して、地域住民の健康と福祉の増進に寄与する活動を推進をして参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



富士
東部

医療的ケア児とその家族が可能性を最大限に発揮できるために

富士・東部医療的ケア児支援センター
看護師 医療的ケア児等コーディネーター
佐藤まゆ



今年5月、都留市立病院内に「富士・東部医療的ケア児支援センター」が開設しました。富士・東部は、上野原市から富士河口湖町までの広範囲であり、都留市はその中心部に位置しています。この地域は以前から社会的資源が少ないと言われていました。開設後の第一歩として、医療的ケア児の現状と社会資源の状況把握を始めました。情報収集を始めてみると、少ないと言われている社会資源の中で市町村、事業所、訪問看護ステーション、支援学校、公立の保育所などで様々な専門職の方々が奮闘していることが分かってきました。

私も公立保育所で、医療的ケア児の受け入れの準備と受け入れた1年目の担任をした経験があります。病院と違って、医療者が他にいない事、医療的ケアに関して多職種との連携や他の保育所との情報共有が困難な事などいくつもの不安がありました。その一方で、医療的ケア児が、集団生活の中で社会性を身につけ、著しく成長していく姿を目の当たりにした事で、保育所は社会資源として重要な役割を持っていると感じました。

医療的ケア児への支援は、児だけではなく家族を含めた長期にわたる支援が必要です。ライフステージによって利用できる制度も社会資源も変わります。医療的ケアや成長は個別性に富んでおり、受け入れに戸惑う事業所や学校、保育所がほとんどです。当支援センターは、専門職同士それぞれの強みを生かし、長期的に伴走していく事で、その家族が持つ可能性を最大限に発揮できるように支援をしたいと思っています。親御さんの中には「周りに知られたくない」「親が頑張れば」と悩み、社会的資源の導入をしていない場合もあると思います。この地域の医療的ケア児の現状把握

を行っていく事で、悩みを抱えているご家族の負担の軽減にも繋げていけると考えています。

医療的ケア児やその家族、支援する方々が「そうだ、相談してみよう」とふと思いついてもらえる医療的ケア児支援センターにしていきたいです。



医療的ケア児と家族が安心して暮らせる社会を目指して！

和げん代表
有泉純子



医療的ケア児の増加を受けて、支援体制の強化は日々進んでいますがまだまだ脆弱な部分も多いと思います。

近年では、医療的ケアの内容が高度になっている事もあり、重症児を対象としている事業所であっても対応できない事業所が多いのが現状です。

当事業所では、看護師をはじめ児童発達支援管理責任者や理学療法士、保育士などあらゆる職種や地域と連携をしてそれぞれの専門性を活かし多方面から支援をすることで、高度な医療的ケアの必要な障害児まで対応しています。

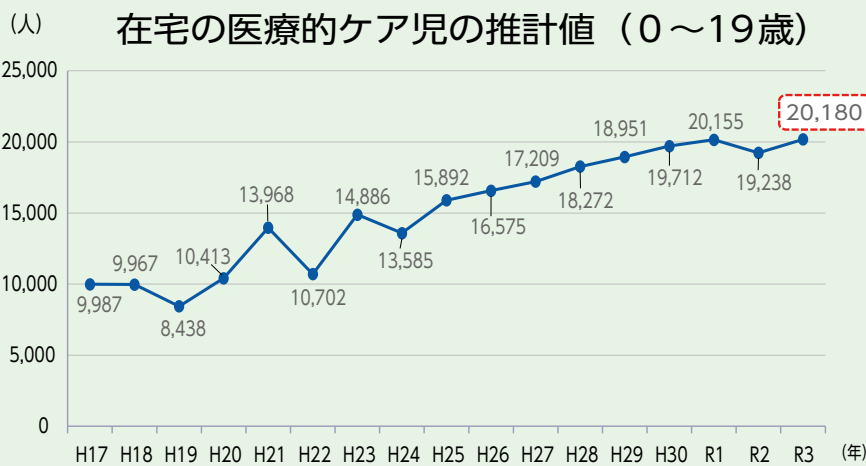
現在のお預かりしている児童たちは、気管切開、胃瘻造設などさまざまな障害を抱え会話によるコミュニケーションは図れず表情で気持ちを察して接しています。初めのころは表情

の観察も不安があり提供している支援が児童にとって心地よいのか不慣れなのか知ることが出来ず手探りの状況でした。日々、接している中で豊富な表情を感じ、感情を読み取ることが出来るようになり支援するスタッフもいろんな工夫を考えて対応できるようになりました。



また、家族の苦労は

計り知れませんが、家族の思いに少しでも近づき家族まで含めたケアが提供できるように取り組んでいます。家族の思いにも寄り添い、障害福祉と医療に関するサービスがさらに充実され、医療的ケア児と家族が多様なサービスを選択でき、住みたい地域で医療的ケア児と家族が安心して心地よく生活できる社会をみんなの力で作っていきたくと思っています。



出典：厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業「医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携に関する研究（田村班）」及び当該研究事業の協力のもと、社会医療診療行為別統計（各年6月審査分）により厚生労働省障害児・発達障害者支援室で作成

医療的ケア児について

- 医療的ケア児とは、医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。
- 令和3年「医療的ケア児及びその家族に対する支援」に関する法律が定められました。

子は育つ

株式会社 洗心
露木里恵



私たち（株）洗心では、医療的ケア児デイサービスとして在宅での児童発達支援（保育園・幼稚園のようなもの）と放課後デイサービス（学童保育のようなもの）を行っています。登録されているお子さんたちは

22名ほどで1日の定員数は5名となっています。

「笑む」の発足から3年が経ち、その間私が感じていること、それは「子は育つ」です。

多職種連携の必要性はわかっていたのですが、保育士との連携は初めてで、保育士という資格で働く人の価値観に触れ、驚きと戸惑いの連続でした。

保育士は、「その子はその子なりの進度で必ず成長する。何ができて何を伸ばしてあげればいいのかアセスメントし、どんな方法で支援するのかを遊びを通して計画していく」と言っています。

一例をあげます。

脳性麻痺で、併せて頸損状態で人工呼吸器を装着しているかわいい女子中学生。訪問看護では、iPadでアンパンマンや、しまじろうを見るのが好きなんだなあ～と看護師は感じていました。その子が「笑む」を利用することになり、当初は人工呼吸器の扱いにびくびくしていた保育士たちでしたが、すぐに保育士らしい行動で、「中学生なのにアンパンマンはないわ！」と、様々な画像を探し、あれこれ言葉を交わしながら1か月もたつと韓流グループの素敵な子を指してみんなで「この〇〇君が押しだよ」というのです。

父さんは「この子は怒らないし、笑わない」と心配顔で話し

ていたことを思い出しました。でも、画面に映る押しの子を凝視している時に、保育士がアンパンマンに画面を移すと、激しい表情で「ちがう！」と言わんばかりに睨むようになったのです。お母さんもお父さんもそのような変化に大変驚かれています。

また、人工呼吸器を付けての入浴を看護師・保育士で行うため、とにかく安全に！安全に！！と緊張する私を横に保育士たちは「今日はバラの香りにする？ぶどうにする？」と賑やかです。しかもエステ気分マッサージやピーリングを始めました。その時のAちゃんの満足げな顔といたら！入浴の後にはリハスタッフによる排痰ケアが始まります。単なるスウィーピングではなく、バスタオルをハンモックのように広げ、2人がかりで左右に揺らすのです。看護師は呼吸器が外れたり、転落しないようスタンバイ。その後、看護師の私が吸引を行うと、怖い顔で怒りの表情をします。私がそばに行くだけでこの表情になり「私だけ嫌われた～」とがっかりしているとスタッフも笑顔です。



今では、町中の保健室や音楽の演奏会、石和の温泉に楽しみに行き、地域で暮らす地域の子です。そして親も思わなかった成長を引き出すことが多職種連携の中ででき、「子は育つ」です。でもそのためには成長を信じて支援する多くの専門職が必要です。

少しでもその支援に私たち看護師が立ち上がろうではありませんか！できることはまだまだあります。

健やかで笑顔あふれるまちを目指し

富士川町役場 保健師一同

富士川町は、人口約1万4千人の小さな町のため、住民と顔が見える関係を築き、住民の声を大切にしながら日々の業務に取り組むことができます。

保健師は、健康増進、包括支援センター、母子保健、障害福祉担当に在籍しています。さらに、管理栄養士、社会福祉士、看護師の他職種とも連携し、各々の専門性に基づいた支援を行っています。

富士川町では、専門職が参加するOJTを月1回行っています。各担当に専門職が在籍しているため、年間計画で策定した課題テーマに沿った学習と情報共有を行いながら、担当業務について意見を出し合い、日々の業務の見直しを行っています。また、年に1回行う看護研究は、別の担当のテーマであっても、全員で協力してデータ収集や考察を行い、事業改善に向けて話し合っています。

富士川町の強みは、専門職の垣根を超えた多職種の連携です。保健師、他の専門職の協力体制はもちろん、担当同士が保健事業に協力し合える体制があります。今後も住民の皆さんが笑顔で過ごせる町づくりを、全員で頑張っていきたいと思えます。



身体拘束ゼロ宣言！

医療法人慶友会 城東病院療養支援部長 川口 幸恵

当院は、医療療養病床59床、介護医療院172床の慢性期病院です。開院以来、高齢者医療に取り組んでおり昨年40周年を迎えました。『いつまでもあなたらしく』の理念のもと、地域共生を目指しています。患者様、利用者様の『あなたらしく』を支えるためには、多職種協働が必要不可欠です。当院では、看護・介護・リハビリがそれぞれの専門性を発揮し、チームで支援することを目的に療養支援部として3職種を同じ部署に組織再編しました。チームでの取り組みのなかで昨年8月に身体拘束ゼロを実現しました。拘束をしては『あなたらしく』はいられないと思い、今後も身体拘束ゼロを継続していきます。そのため、今年度から新たな取り組みとして身体拘束の体験研修を開始しました。身体拘束を体験することで患者様・利用者様の思いを理解し、自分事として考えられるようになります。体験研修は、病棟のスタッフだけでなく全職員を対象に実施する予定です。今後も患者様・利用者様の『あなたらしく』を全職員で支援し、地域の方に愛される病院を目指して頑張っていきたいと思います。



SERIES キャリアアップ への 耳寄り情報

No.8

いよいよ、認知症看護認定 看護師教育 B 課程が開始

山梨県立大学では、令和7年5月から認知症看護認定看護師B課程(特定行為研修を含む)を開講する準備をしています。今年度はA課程最後の入学生19名を迎え、これまで288名が本学で学び、全国で活躍しています。B課程は、これまでの認定看護師の科目に特定行為研修が加わり、薬剤調整や臨床推論が強化されます。挑戦してみたいけれど、自信がないという方に、受験相談会を実施しています。個別相談も応じていますので、ぜひ、問い合わせやホームページをご覧ください。



当事者の語りを真剣に聞いています

山梨県立大学
看護実践開発研究センター長
前澤美代子

働き続けるために…

ナースの ママ・パパ 奮闘記

第2の道、 看護師ママとして

上野原市立病院 看護師 佐藤星南

私は看護師として8年目になり、地元にある上野原市立病院で働いています。現在は2歳、4歳姉妹のママですが産休育休で3年ほどお休みをいただきました。

育児は毎日が試行錯誤で、大変という言葉では足りないくらいですが、子供達から学ぶことも多く、子供達の成長を一番近くで感じることができ嬉しいです。長期休業していたため職場復帰する際はとても不安でしたが、子供達も保育園へ通い、成長を感じる事ができ、私の頑張る源になりました。復帰する際は、看護部長や看護師長と相談し、育児短時間勤務を選択しました。下の子が3歳になるまで利用し、今後も家族の時間も大切にしていきたいと思います。病棟スタッフも私や家族のことをすごく気にしてくれて、安心して楽しく働くことが出来ています。子供の体調不良でお休みさせていただくことも多くありますが、周囲の協力や理解があるからこそ仕事と育児の両立ができています。

看護師としてもママとしてもまだまだ未熟ではありますが、支えてくださる方々に感謝を忘れず、私らしく息抜きをしながらのんびりと頑張っていきたいです。



元気に育ってね！

TOPIC & INFORMATION

「山梨県看護職員確保・定着促進コーディネーター事業」の紹介

山梨県看護協会では(新)山梨県看護職員確保・定着コーディネーター事業として、山梨県より委託を受け「**看護職員の確保定着が困難な医療機関等にコーディネーターを派遣し、看護職員が働き続けられる職場環境を支援することにより、看護職員の離職を防止し、看護職員の確保・定着に寄与する**」事業です。看護職員の人材確保・定着に関する事についてコーディネーターがお話を伺い、現状を整理できるよう一緒に、伴走できたらと考えています。



施設訪問にいざ出発！

〈面談内容とコーディネーター〉

①看護管理者に対する面談内容 (小田切担当)

看護師確保・定着について好事例などを紹介され、看護管理者が把握している看護職員の離職の理由、や現在の状況とそれらの中で、最も印象に残るエピソードなど伺っています。

②看護師に対する面談内容 (小池担当)

長期に貴院で継続して勤務できるモチベーションの内容をお聞きしています。働き続けられる環境についてともに考え、モチベーションアップに繋がれたらと思います。参考にできることは、ご本人の同意の上で他の施設などに紹介させていただき施設の改善点に繋げていきたいです。

面談後も再訪問やメール、電話などでの相談も継続して行います。

看護部の皆さんが前向きに取り組んでいけるよう一緒に考えて乗り越えましょう。山梨県の看護職員確保・定着促進に向け頑張ります。よろしくをお願いします。

令和6年度 理事会報告

以下について承認されました

第1回 令和6年4月9日(火)

1. 令和6年度通常総会の運営について
2. 令和7年度日本看護協会通常総会代議委員・予備代議委員の推薦について
3. 令和6年度看護大会及び看護大会祝賀会について

第2回 令和6年5月14日(火)

1. 令和5年度事業報告について
2. 令和7年度日本看護協会通常総会代議委員・予備代議委員について
3. 令和6年度通常総会会員への招集及び通知について
4. 令和6年度通常総会の運営について
5. 令和6年度常任委員会・特別委員会・認定看護管理者教育運営委員会の委員の選出について
6. 定款細則及び職能委員会規則の一部改正について
7. 令和6年度保健師交流集会プログラムについて
8. 令和6年度助産師交流集会プログラムについて
9. 令和6年度看護師交流集会プログラムについて

第3回 令和6年6月3日(月)

1. 令和6年度山梨県看護協会通常総会運営・担当役割等について
2. 令和6年度第4回理事会について
3. 令和5年度決算報告について
4. 令和5年度決算確定に伴う令和6年度資金収支予算及び収支予算の補正について

第4回 令和6年6月21日(金)

1. 副会長、専務理事・常任理事の選定について
2. 会長代行及び専務理事代行優先順位について
3. 常勤理事の月額報酬について
4. 業務執行理事の業務分担について
5. 令和7年度総会日程について
6. 令和6年度総会議決事項等の会員への周知について

山 梨 県 看 護 協 会 I N F O R M A T I O N

令和7年度 山梨県看護協会通常総会の日程が決定いたしました
令和7年6月20日(金) 9:30~12:30 *開催時間が午前中になりますのでご注意ください!

■ 2024年度山梨看護学会のご案内

開催日時: 令和6年11月30日(土) 来館による一部公開収録

WEB公開: 令和6年12月11日(水) ~ 令和7年1月6日(月)

学会テーマ: 「看護の深化」

内容(予定): ◇演題発表 ◇シンポジウム(内容は検討中) ◇一言写真第3弾

今年度から、企業展示や癒しのブースを設置する予定です。

☆詳細は、山梨県看護協会ホームページ・学会のご案内等をご覧ください。

■ 安全推進委員会からのお知らせ (仮題) 医療安全に関する交流会

日時: 令和6年12月12日(木) 13:30~15:30(受付13:00~)

場所: 山梨県看護協会看護教育研修センター 大研修室

参加費: 無料

申込方法: 山梨県看護協会ホームページからお申し込みください(研修情報管理システムイージーセミナー → 委員会主催研修)。

久しぶりに集まって開催します。他施設の看護職との繋がりをもち、医療安全に関する悩みや困りごとの解決策を考えてみませんか。医療安全に関心がある看護職の皆さまの参加をお待ちしています。

■ 山梨県看護協会・山梨県看護連盟合同研修会

開催日時: 令和7年1月18日(土) 午後1時30分~

講師: 川嶋みどり先生

*「治る力」で・あ〜てを推進している有名な先生が山梨に来てくれることになりました。詳細は決まり次第お知らせしますので予定してください。

お気に入りの
写真



私の隣に座る同僚の先輩は、手芸が好き。先輩だけではなく、その姉妹も物づくりが大好き。洋服づくりの得意な姉の声かけにより、姪2人のウェディングドレスを姉妹で手作りしたと言うこの話にとっても感動!! 皆様のお幸せをお祈りします。

投稿者: 小澤登志美(北杜市役所)

※このコーナーでは、会員の皆様から「お気に入りの一枚」を募集しています。ペットに限らずご提供よろしくお祈りします。
送信先: senm@yna.or.jp 広報担当

【笑顔スナップ】「山梨県看護協会」

山梨県看護協会は、会長を中心に教育部・訪問看護ステーション部・ナースセンター・訪問看護支援センター・総務部の総勢25人で、会員の皆さんとともに、働きやすい環境づくり、看護人材の確保・定着と育成等取り組んでいます。

ぜひ、顔を覚えていただき、看護協会にお立ち寄りの折には声をかけてください。



編集
後記

今年度の新たな広報委員とともに、看護協会ニュースもリニューアルとなりました。130号を発行するまでの歴史は長く、第1号は昭和55年でした。これからも皆さんの役に立つまた勇気づけられる広報誌の発行を目指します。よろしくお祈りします。